

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する

連結常利益
900億円ROE
8%以上CO2排出量削減
2,250万t削減再エネ発電電力量
40億kWh増

② 中長期の経営戦略

1. 国内再生可能エネルギー拡大

新規開発と既存資産更新による発電電力量増大。コーポレートPPA導入と再エネアグリゲーション対象を陸上風力に拡大

2. 海外事業の拡張

再生可能エネルギー開発利益獲得を軸に、資本効率向上しながら豪州子会社化・インドネシア出資などセグメント拡大

3. CO2フリー水素・アンモニア戦略

GENESIS松島計画で石炭ガス化発電技術の商用化推進。オマーン国での水素製造供給権獲得。CCS事業化を加速

4. 電力ネットワーク増強

佐久間周波数変換所増強計画推進で東西日本連系に貢献。再エネ大量導入時の電力系統広域運用に対応

③ 対処すべき課題

① カーボンニュートラル実現

- ・ 2050年に発電事業のカーボンニュートラル実現に挑戦
- ・ 2030年のCO2排出削減目標達成に見通し獲得
- ・ 2030年代カーボンニュートラルアセット中心の事業ポートフォリオへ変換

② 電力安定供給との両立

- ・ 脱炭素電源最大活用しつつバランス取れた電源構成実現
- ・ DX・GX進展に対応した電力需要増加への対応
- ・ エネルギー安全保障強化への対応

③ 資本効率向上と事業革新

- ・ ROIC導入で資本効率を高度に管理。全社ROIC向上を目指す
- ・ 環境価値プラットフォーム開発など新領域創造
- ・ DX3S+D推進で人財「よりよく」創出してグループ競争力強化

面で使えるポイント

- ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向け、2030年CO2削減2,250万t達成目指す長期ビジョン
- ・ GENESIS松島計画でCO2フリー水素発電技術商用化、豪州・インドネシア・オマーン国での事業展開推進
- ・ 大間原子力発電所のMOX燃料でプルトニウム消費、原子燃料サイクル中核担う戦略的役割

証券コード 9513

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
1.18兆円営業利益率
8.5%財務健康度
40点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 66.1（当サイト算出の参考指標）

要するに

電力事業および電力周辺関連事業を主力とする電気・ガス業の上場企業

主力事業・セグメント

- 電力Generation 71.1%
- 海外 19.3%
- 電機電力Related 4.2%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高1.18兆円の大企業
- 営業利益率8.5%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収

1,188万円

電気・ガス業内 1位/28社

平均年齢

41.6歳

電気・ガス業内 19位/28社

平均勤続

18.5年

電気・ガス業内 15位/28社

女性管理職

2.2%

電気・ガス業内 21位/23社

男性育休

110.0%

電気・ガス業内 1位/20社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考：「NEXUS佐久間プロジェクト」佐久間発電所（水力）の更新工

